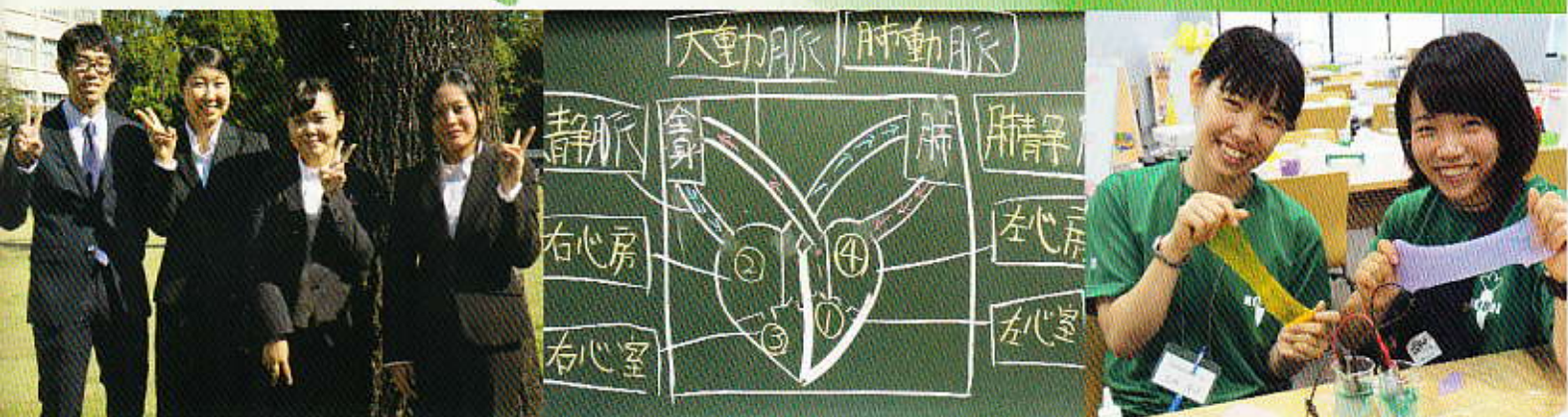


TOKYO UNIVERSITY OF AGRICULTURE

# 東京農業大学教職課程

## Annual Report

平成29年度版



### はじめに

本Annual Reportは、東京農業大学教職課程の活動を本学学生、教職員の皆様のみならず、広く学校関係の方々にお知らせし、ご理解いただくことを目的としております。

東京農業大学教職課程において取得可能な教員免許状は、理科(中・高)、農業(高)、地理・歴史・公民(高)、情報(高)、社会(中)、技術(中)、栄養教諭と多岐にわたっています。在学生の教職への意識も高く、各学年の約2割が教職課程を履修し、履修者の3分の1が毎年4月から教壇に立っています。これは、教育学部を持たない大学としては異例とも言うべき成果です。さらに本課程では在学生のみならず、卒業生はもとより、中・高教諭や一般を対象とした授業支援においても幅の広い活動を展開しています。平成29年4月からは新たに4学科が新設され、教職課程履修者の増加が見込まれます。

本課程では近年「実践的指導力を育む」をテーマとして、理論(座学)と実践(教育現場に学ぶ)のバランスのよい教員養成に力を入れています。4年次必修科目「教職実践演習」では、履修者全員に中学校での授業見学を課すほか、教員採用試験合格者に対しては教育委員会のご協力を得て校務全般を経験する「現地演習」を実施するなど、他大学に先駆けた取組を実施しています。また、若手OB教員の授業支援にも力を入れており、平成26年度から始めた「夏季若手理科教員研修会」は、平成28年度から農業科教員を加え「夏季若手教員研修会」と改称し、オリジナリティに富む実習・実験授業を展開して好評を博しています。このような取組は平成28年12月に実施された文部科学省の教職課程実地視察においても高く評価されました。本課程では平成29年4月入学者から履修開始学年を1年後期からとし、「主体的・対話的」学びによる実践的な教員養成のさらなる充実を目指します。

このAnnual Reportが皆様の東京農業大学教職課程に対するご理解の一助となることを期待致します。

東京農業大学 教職・学術情報課程主任

小梁川 雅

# 平成28年度 農大教職課程世田谷・厚木キャンパス 主な活動報告

- 4月** 新入生教職課程ガイダンス  
平成29年度教員採用試験直前対策講座開講  
教育委員会による教員採用学内説明会(～5月)  
平成29年度教員採用試験大学推薦学内説明会及び選考
- 5月** 教員採用試験教育法規・学習指導要領勉強会  
教育ボランティア募集説明会  
4年生教育実習開始
- 6月** ホームカミングデー  
教員採用試験1次対策講座開講
- 7月** 新入生教職課程履修申込ガイダンス  
介護等体験への派遣開始
- 8月** オープンキャンパス  
免許状更新講習開催  
教員採用試験2次対策講座開講  
夏季若手教員研修会開催  
高大連携(農業実習)  
免許法認定講習開催

- 9月** 平成30年度教員採用試験対策講座開講  
教採対策講座・教員採用試験合格者から学ぶ  
教職実践演習開講  
教育研究フォーラム
- 10月** 1年生教職課程履修申込  
収穫祭(～11月)
- 11月** 教職実践演習(現地演習)学内説明会  
教採対策講座・教員採用試験合格者から学ぶ  
教育委員会による教員採用学内説明会(～12月)
- 12月** 世田谷・厚木合同第5回教育実習全体指導  
高大連携(学生による出張授業)



- 2月** 現地演習報告会
- 3月** 卒業式(教員免許状授与)



## 本学で取得できる免許状

### ■普通免許状

学 科	中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状
<b>農学部</b>		
農学科	理科	理科・農業
畜産学科	理科	理科・農業
バイオセラピー学科	理科	理科・農業
<b>応用生物科学部</b>		
生物応用化学科	理科	理科・農業
醸造科学科	理科	理科
栄養科学科	理科	理科
<b>生命科学部</b>		
バイオサイエンス学科	理科	理科・農業
分子生命化学科	理科	理科・農業
分子微生物学科	理科	理科・農業
<b>地域環境科学部</b>		
森林総合科学科	理科・技術	理科・農業
生産環境工学科	理科・技術	理科・農業
造園科学科	理科	理科・農業
地域創成科学科	—	農業
<b>国際食料情報学部</b>		
国際農業開発学科	理科	理科・農業
食料環境経済学科	社会	地理・公民・農業
国際バイオビジネス学科	社会	情報・農業
国際食農科学科	—	農業

### ■栄養教諭免許状

学 科	免許状の種類
応用生物科学部 栄養科学科	一種免許状

## 教員採用試験対策講座 教員採用試験合格者から学ぶ

教員採用試験対策講座では例年「教員採用試験合格者(先輩教員)から学ぶ」と題して、若手OB教員を招き「合格への道」を伝授していただいております。今回は平成28年9月17日(土)開講式後のガイダンスに日高市立高麗川小学校栄養教諭平塚萌先生、東京都立農水学園(特別支援学校)技術科教諭木村龍志先生、横浜市立洋光台第二中学校理科教諭倉石芽衣先生が来訪され、新任教員の奮闘の日々を語って下さいました。また、11月26日(土)には千葉県立松戸馬橋高等学校理科教諭杉原翔太先生、中野区立中野中学校理科教諭丸山希美先生、東京都立農芸高等学校(定時制課程)農業科教諭味岡結奈先生が生徒指導や部活指導、教材研究に日々励みながらも生徒と共に成長する教員生活を紹介して下さいました。先輩教員の熱く生き生きとした講話は、教員を目指す後輩達に大きな力と勇気を与えてくれました。

恒例となったゴールデンウィーク4日間連続の緑川哲夫先生による教育法規講座も、教員合格を目指す熱い学生でいっぱいでした。





## 平成28年度 教育実習への取り組み： 実践的指導力を育む



### 教育実習全体指導

農大教職課程では教育実習に向けて、3・4年次に全6回の教育実習全体指導を行います。全体指導がない週は模擬授業を行い、授業研究、教材研究に努めています。特に2、3年次生を対象として毎年12月土曜日に実施される全体指導では、世田谷・厚木両キャンパスの学生を百周年記念講堂に集め、現場の校長先生をお招きし「教育実習に臨むにあたっての心構え」をご教授いただいております。

平成28年度は、品川区立八潮学園校長山口晃弘先生にご講演をお願いしました。山口校長のご講演では、学校現場における教員の多忙な一日と働き方についてご紹介下さった後、ご専門の理科教育における「生徒が引きつけられる教材」について「演示実験」により実践いただきました。

当日午前中には、継続して現役合格者を輩出している栄養教諭の実習指導が行われ、文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課学校給食調査官齊藤るみ先生のご講演がありました。



## 教職実践演習の取組

### 現地演習報告会

「教職実践演習」は本学教職課程が進める指導の総仕上げ（学びの軌跡の集大成）として実施しています。なかでも、教員採用試験に合格した学生を対象に教育委員会管下の学校で行う「現地演習」は本学「教職実践演習」の大きな柱となっています。学生は学校現場における実践的な演習を通じて、教職の課題を明確にし自己の資質・能力の向上に生かします。「現地演習」の成果は、「現地演習報告会」によりフィードバックされます。

平成28年度「現地演習報告会」では、活動報告として学校の概要から授業準備、校内作業・行事等各自が参加した演習内容を紹介しました。

「職員室の様子や朝の打ち合わせを通じて、学年での教員の動きや学年の仕事の分担状況がわかった」、「授業で遅れがちな生徒などに対する指導方法や工夫を学ぶことができた」など、多くの気づきもあったようです。また、特別支援学級の学生は、「通常級に比べ、特別支援学級の生徒は発達段階に差がある為、一様な指導が適さない場合が多いこと、また生徒が困難と感じる場面を具体的に学ぶことができた」と振り返り、今後の課題として「障がいの特性や医学的な観点も知ることで、より適切な支援に繋がる」ことを挙げ、「4月からの教員生活に向けて、具体的なイメージを持って準備を進めていきたい」と語りました。



### 現地演習報告会



平成28年2月6日(月) 12:00~16:00  
世田谷キャンパスC15号館

# 教職課程研究室訪問



## 理科教育研究室 武田晃治准教授

武田先生は現在ザリガニを使用した教材開発に取り組んでいます。教職課程4年大内美香子さんと宮林敏也さんが武田先生にインタビューを行いました。

**Q.** 先生は、教材開発になぜザリガニを選んだのですか？

**A.** ザリガニを選んだ理由は、小・中学校の理科で扱われており、子供たちが身近で興味を持ちやすい動物だと思ったからです。

**Q.** どのような研究を行っているのですか？

**A.** 「色素による体色変化」の研究(教材開発)をしています。色素にもいろいろな種類がありますが、なかでも最近、抗酸化物質として話題のアスタキサンチンに着目しています。このアスタキサンチンというのは、サケの筋肉やイクラに見られる赤い色素です。アスタキサンチンは植物プランクトン(ヘマトコッカス)により作られ、それをサケの餌となるオキアミなどが捕食します。つまり、もともと白身魚であるサケの筋肉やイクラが赤色なのは食物連鎖による生物濃縮によるものと考えられます。そこで、生物濃縮を可視化できるモデル生物教材として、遺伝的に白色に固定されたザリガニを用いて教材開発を行っています。

**Q.** どのような実験手法をとっているのですか？

**A.** 基本的には、餌にアスタキサンチンを混ぜたものを白ザリガニに与えています。面白いことに、白いザリガニに赤色のアスタキサンチン含有餌を与えても初めから赤くならないのです。まず青くなる過程を経てから赤紫へと変わっていくのです。これは、アスタキサンチンがザリガニ体内のアスタキサンチン結合タンパク質と結合することによって青色を呈すると考えられます。その後、体に赤みが増してきます。

**Q.** 青色以外の別の色でザリガニを作ることはできますか？

**A.** はい。実際、クチナシの色素を用いた黄色のザリガニの作出も知られています。私は現在、青色以外に他の色のザリガニの作出を試みています。

**Q.** このザリガニの研究は、教育にどのように生かしていくことができますか？

**A.** まず、色がついていることで、理科の授業の中で、生徒の興味を引くことができると考えられます。具体的には、小・中学校では、生物飼育やそれに絡めて、アスタキサンチンが生物濃縮されていく様子を観察させ、生物濃縮を可視化したモデルの生物教材として用いることができると考えています。高校ではその色素の生物学的意義を考察していく課題研究に活用できると考えています。さらに大学では、色素とタンパク質との結合や、その結合タンパクの遺伝子に着目した実験、色素の構造解析などに結び付けていくことが可能です。つまり、ザリガニを用いて、教材としての視点を変えることで、一貫した理科教育を小学校から高校、さらには大学に至るまで教材として活用できると私は考えています。また、理科だけにとどまることなく、環境教育やその他の教科にも横断的な教材研究になればと考えています。

### 学生MEMO

ザリガニの研究は理科教育だけでなく、幅広い教材として、面白い展開が期待できそうですね！  
武田先生、ありがとうございました。



白



青



赤紫



# 平成29年度 教員採用者数&合格者の声

## 千葉県公立中学校合格(理科)



私が試験に合格できたのは教職課程の先生方をはじめ、同じ志を持つ仲間など周囲の人に恵まれたからだと思います。教員を目指すにあたり、何か一つでも自分の中でぶれない核になるものが必必要だと教わりました。私の核は部活動指導です。前技を通じて自分の人生を伝えたいと思いました。あなたが生徒にもえたいことはなんですか？すべては子どもたちのために、熱意を持って頑張ってください。

(生産環境工学科・平成29年3月卒)

## 滋賀県公立高校合格(農業)



教職課程を履修することにより、多くのことを学び様々な人と出会うことができました。また、農大ならではの授業や実習などの貴重な経験が採用試験を受ける際、強みとなり自信にもつながりました。教員への道は簡単ではありませんが、達成感とやりがいはいかなりあると思います。自分から行動することでより多くのことを学べるのが大学です。教師になりたいという強い意志を持ち、いろいろなことを経験して下さい！

(国産農業開発学科・平成29年3月卒)

## 神奈川県公立高校合格(農業)



東京農業大学の教職課程で学んだことは自分の糧になりますが、教職課程だけの知識や経験では足りないことも多くあります。教師を目指す以上は、常に周囲にアンテナを張り、貪欲かつ積極的に学んでいくことが大切です。やっとの思いで手にした大学生活の中で、いっぱい遊んで、いっぱい勉強して、たくさん経験を重ねて幅の広い人間になろう。

(農学科・平成29年3月卒)

## 東京都公立特別支援学校合格(技術)



東京農業大学では、教職課程を履修すると学科の講義もあるため、とても忙しくなります。私の場合、1限から6限まで講義が連続していることもありました。しかし同じ志を持った仲間たちと、実践的な講義を通して学ぶことができます。農大だからこそ身に付く専門的な力がたくさんあります。皆さんも農大で学んだことや経験を武器に、最後まで諦めずに頑張ってください！

(森林総合科学科・平成29年3月卒)

## 東京都公立中学校合格(理科)

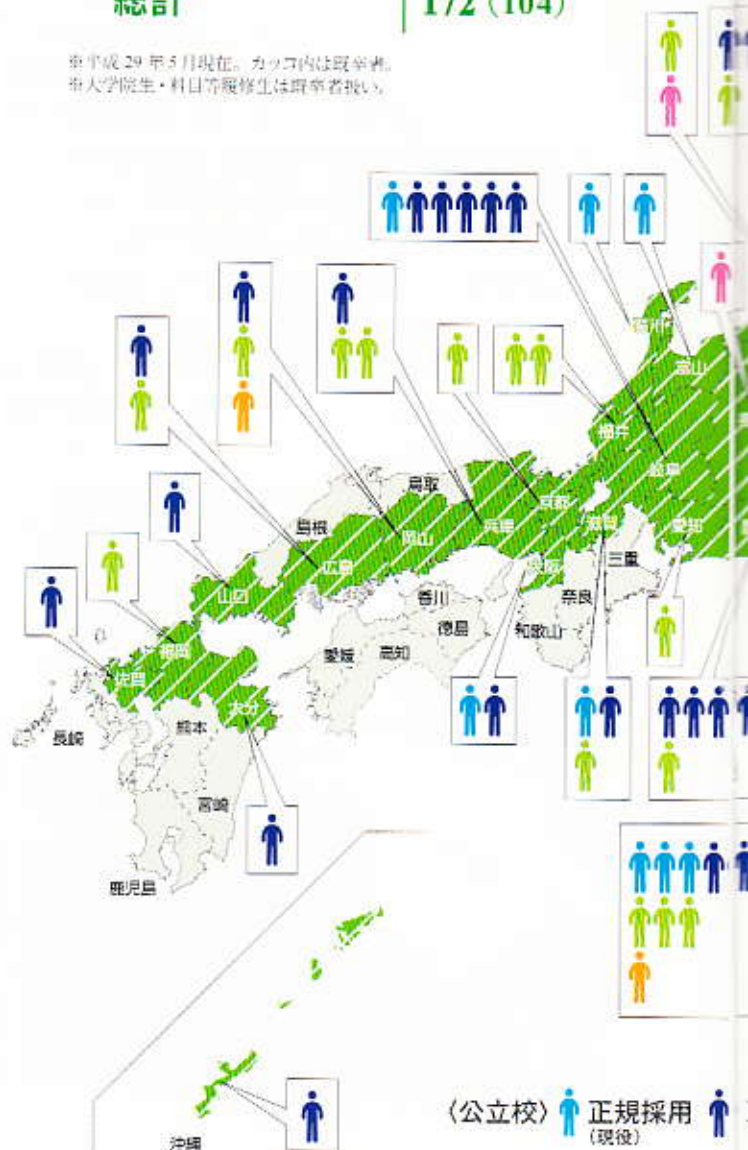


学科の勉強や実験と教職課程の勉強の両立は大変でしたが、それら乗り越えたことで、教員採用試験の合格を果たせたのだと思います。さらに農大では、3年生の夏から約1年間、教員採用試験対策講座も開催しており万全の準備の下、試験を受けることができました。ご指導いただいた先生方や、共に採用試験に向けて頑張った友達には感謝してもしきれません。ありがとうございました。

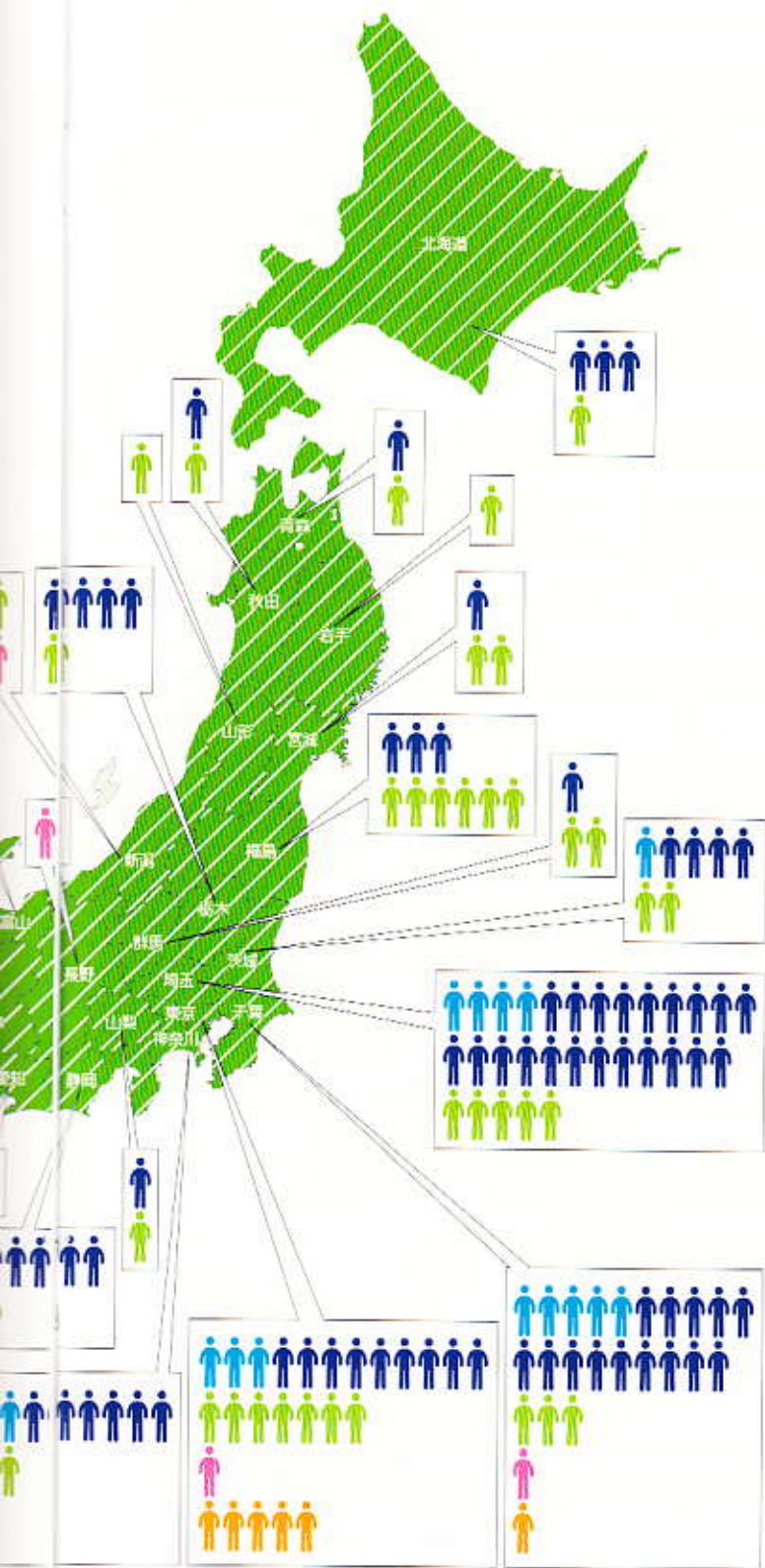
(生物応用化学科・平成29年3月卒)

採用種別	人数
● 正規採用(公立)	109 (88)
● 常勤講師(公立)	51 (10)
● 非常勤講師(公立)	2 (0)
● 実習助手(公立)	2 (0)
● 正規採用(私立)	1
● 常勤講師(私立)	4 (3)
● 非常勤講師(私立)	2 (1)
● 実習助手(私立)	1 (0)
<b>総計</b>	<b>172 (104)</b>

※平成29年3月現在。カッコ内は既卒者。  
※大学院生・科目等履修生は既卒者扱い。



※公立校正規採用合格者数の集計につきましては、全国の各教育委員会にご協力を



正規採用 (既卒)
 常勤講師
 非常勤講師 / 実習助手 (私立校)

ありがとうございました。誠にありがとうございました。

### 川崎市立中学校合格 (技術)



自分自身の能力の向上になればと履修した教職課程ですが、授業を通じて様々な経験をし、数多くの仲間を得ることができました。またその中で教員という職業のやりがいを知り、教員になりたいという夢を与えてくれた場でもありました。教職課程を履修したからこそ、充実した4年間を送ることができたと思います。

(森林総合科学科・平成29年3月卒)

### 茨城県立中学校合格 (理科)



最大の教職課程の授業では、実験・観察を行うことや教材のアイデアを考えることなどを通じて、実際の教育現場に出てからも役立つことを学ぶことができました。また、教員採用試験対策講座では、先生方や同じ目標を持った仲間と試験直前まで対策をし、そこでの努力や支えが教員採用試験の合格につながったと思います。教職課程を履修する目的は人それぞれだと思いますが、やるからには最後まで諦めずにやり抜いてください。

(国際農業開発学科・平成29年3月卒)

### 堺市立中学校合格 (技術)



自由ほど怖いものはないと思います。大学生活は今まで以上に自由な時間があります。毎日に目的や目標を持って過ごさなければ、ただ1日が終わってしまいます。そして自分の弱さを感じることがあると思います。教師としての資質向上のための時間に当てるかは人それぞれです。充実した学生生活を送ってください。

(森林総合科学科・平成29年3月卒)

### 埼玉県立中学校合格 (技術)



私がはじめて教員になろうと思ったのは中学生の時でした。豊かに進み、たくさんの先生方や仲間たちに出会い支えられて今の自分があると思います。教職課程を履修することは決して美なことではありませんが、その分学生生活の中で多くのことを学び経験することができると思います。教員を目指す上で充実した環境が整っているので、皆さんもぜひ挑戦してみてください。

(生産環境工学科・平成29年3月卒)

### 東京都立高校合格 (農業)



教職を目指すことは決して簡単な道ではありませんでしたが、心強い仲間や熱心に指導して下さる先生方が支えになりました。教職課程を通して教職について学びできるのはもちろん、学科を越えてたくさんの人と知り合うことができます。得るものはとても大きいと思いますよ。

(国際農業開発学科・平成29年3月卒)

## 平成29年度 教職課程世田谷・厚木キャンパス 主な年間スケジュール

- 新入生へのガイダンス<4月>
- 教育委員会、東京私立中学高等学校協会担当者による学内説明会<4月～5月>
- 学校ボランティア説明会<4月～5月>
- 教育実習生の派遣<5月～11月>
- 新入生(1年次生)教職課程履修申し込み<6月>
- 介護等体験への派遣<3年次 7月～2月>
- オープンキャンパス<8月>
- 平成29年度免許状更新講習の開催<8月6日(日)～10日(木)>
- 夏季若手教員研修会の開催<8月11日(祝日)>
- 平成29年度免許法認定講習<8月22日(火)～25日(金)>
- 教員採用試験対策講座の開催(世田谷・厚木キャンパス)<9月～翌年8月><講座全38回、模擬試験3回予定>
- 教育研究フォーラムの開催(世田谷キャンパス)<11月11日(土)>
- 教職実践演習(現地演習)学生派遣<11月～翌年1月予定>

## 平成29年度夏季若手教員研修会

日 時:平成29年8月11日(山の日のため祝日) 13:00～16:00

場 所:東京農業大学世田谷キャンパス15号館3階教職課程地学・化学実験室

講 師:東京農業大学教職課程 武田晃治・(財)進化生物学研究所 蝦名元

研修内容:身近な動植物、材料を用いた実験の紹介

進化生物学研究所研究員の蝦名元氏を講師として呼び、身近な生物の意外な能力を実験により確かめます。また、本学教職課程武田准教授が開発している身近な色素を用いた教材の体験も行います。

## 平成29年度 免許状更新講習

日 時:平成29年8月6日(日)～10日(木)

受講対象:中学校技術・中学校理科・高等学校理科・高等学校農業のうち、いずれかの免許状所持者

受講定員:20名(受講料 35,000円)

講義内容:必修領域 「教育の最新事情」 平成29年8月6日(日) 選択必修領域 「教育の最新事情」 平成29年8月7日(月)  
選択領域 「バイオテクノロジー・木材・地域再生」 平成29年8月8日(火)～10日(木)

応募条件:5日間すべて受講できる方

応募方法:平成29年5月16日(火)10:00～受付

東京農大ホームページから「免許状更新講習受講申込書」をダウンロードし、メールでの申し込みとなります。(先着順)

## 平成29年度 免許法認定講習

日 時:平成29年8月22日(火)～25日(金)

受講対象:公立農業関係高等学校勤務の実習助手(教諭免許未修得者)

受講定員:30名

応募条件:勤務成績が良好・経験年数3年以上で学校長の推薦がある者

応募方法:詳細は教職学情課(03-5477-2512)へ。

## 第20回 東京農大教育研究フォーラム

開催日時:平成29年11月11日(土) 13:00～16:00

開催場所:世田谷キャンパス 農大アカデミアセンター横井講堂(地下1階)

講演者及び講演題目:国立教育政策研究所研究企画開発部総括研究官 千々布敏弥

「新しい学習指導要領と高大接続改革がめざす小学校から大学までの学びの姿」

東京農業大学地域環境科学部地域創成科学科教授 高林茂幸

「山村と都市との交流による体験学習―源流大学の教育実践から―」

共催:東京農業大学教職課程/全国教職員部会連絡協議会 後援:東京農業大学校友会/東京農業大学教育後援会

東京農業大学教職課程ホームページ開設

<http://www.nodai.ac.jp/edu/index.html>

東京農業大学教職課程 Annual Report [平成29年度版] 世田谷・厚木キャンパス編

東京農業大学教職課程

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1

教職学情課 03-5477-2512

e-mail:kyosyoku@nodai.ac.jp

No.3 2017年5月15日